

令和4年産

# 大崎稲作情報 第5号

令和4年7月5日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## 今後の管理のポイント

- ✓ 中干し後～幼穂形成期の適切な水管理を行いましょう。
- ✓ 収量の増加や品質の向上のため、適切な追肥を行いましょう。

## 1. 気象経過

6月第4～第6半旬の気温・日照時間は平年を上回りました。6月27日にまとまった降雨があり6月第6半旬の降水量は平年を上回りました。6月29日には東北南部は梅雨明けしました。

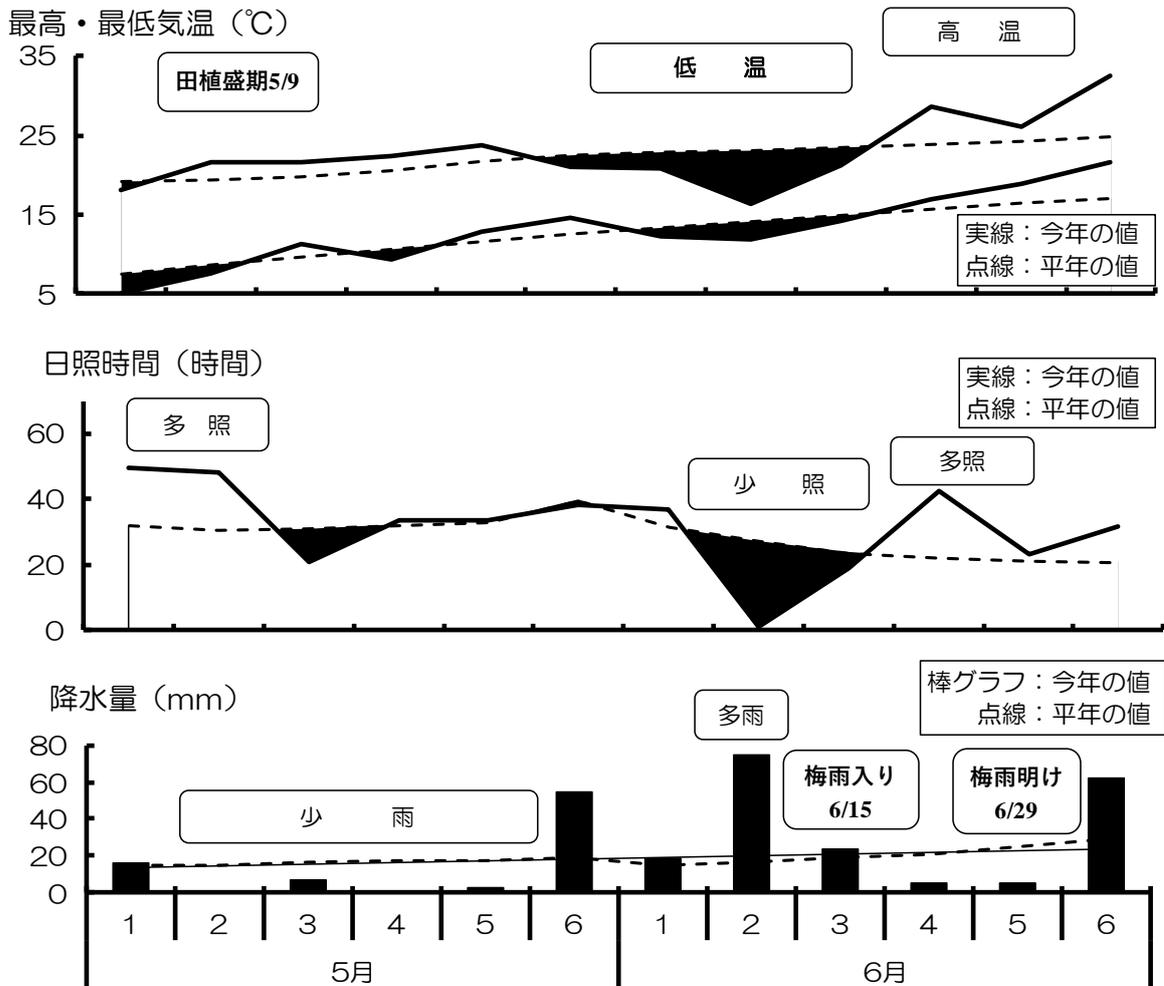


図1 5・6月の気象 (古川アメダス)

## 2.生育概況（7月1日現在）

6月第4半旬以降の高温・多照の気象条件により生育は順調に回復してきており、草丈は平年並～長め、莖数は平年値をやや下回るものの、ほとんどのほ場で目標莖数に達しています。葉数は平年をやや下回る～平年並となっており、葉色もほぼ平年並みとなりました。

表1 7月1日の生育調査結果

品種名	地区名	草丈(cm) (平年比)	莖数(本/㎡) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	幼穂長(mm) 幼穂形成始期	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	51.1 (96%)	584.3 (101%)	9.4 (-0.5)	42.8 (-0.4)	0	
ひとめぼれ	加美町小野田	50.9 (107%)	418.3 (77%)	10 (+0.4)	45.8 (+1.1)	0	
ササニシキ	大崎市古川	50.5 (103%)	568.4 (91%)	10 (+0.1)	44.2 (0.0)	0	
つや姫	色麻町四竈	57.6 (113%)	589.8 (101%)	10.7 (+1.1)	47.8 (+2.5)	0	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	58.0 (96%)	438.2 (83%)	9.3 (-1.0)	44.1 (-1.7)	0	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	50.2 (94%)	525.1 (94%)	9.5 (-1.3)	42.2 (+4.0)	0	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	54.4 (108%)	572.8 (99%)	9.4 (-0.3)	40.1 (-1.2)	0	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	32.9 (76%)	166.1 (59%)	7.9 (+0.3)	39.7 (-4.0)	0	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	48.5 (108%)	510.4 (90%)	9.8 (-0.0)	35.8 (-2.8)	0	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	45.4 (119%)	567 (105%)	8.0 (-0.6)	42 (+0.5)	0	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		51.1 (104%)	531 (92%)	9.7 (-0.1)	41.7 (-0.7)		

※平年比・差は前5か年（平成29年～令和3年）の平均値との比較

表2 出穂期の予測

田植時期	田植始期	田植盛期	田植終期
	5月2日	5月9日	5月17日
幼穂形成始期	7月6日	7月9日	7月14日
減数分裂期	7月18日	7月20日	7月24日
出穂期	始期	最盛期	終期
	8月2日	8月4日	8月8日
平年(10中8カ年)との差	3日遅い	1日遅い	1日早い

出穂期は8月4日頃で、平年(県北部)より1日遅いと推定されます。ただし、幼穂形成始期後に高温で推移すると、出穂期は早まるので、留意すること。

※7月1日現在（6/30まではR4年値，7/1以降は平年値で計算）

### 3. 追肥

基肥の窒素肥効が無くなり、籾数の不足や登熟不良が予測される場合は追肥によって生育調整を図りましょう。

#### ～ 近年の品質低下（白未熟粒の発生）について ～

近年は穂揃期の葉色低下や高温登熟により、白未熟粒等が発生し品質低下することが多くなりました。葉色の急激な低下（窒素栄養の不足）を防ぐため、適切な追肥を検討しましょう。

#### ● 追肥の主な効果

追肥は白未熟粒の発生軽減や光合成能力の向上等の共通した効果に加え、施用時期によっても異なる効果が現れます。

表3 追肥の主な効果・影響（◎：効果高い，○：効果あり，×悪影響あり）

		穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏	玄米タンパク質の増加
施用時期	幼穂形成期	○	◎	○		×	
	減数分裂期		○	◎	◎		
	穂揃期				○		×

#### ● 追肥の目安（施用時期・施用量）

品種によって施用時期・施用量が異なります。施用時期と葉色を判断し、適正量を施用しましょう。「だて正夢」の幼穂形成期までの生育量が少ない場合は、幼穂形成期・減数分裂期にそれぞれ「窒素成分 1.0kg/10a」ずつ追肥することで、適正籾数の確保に努めましょう。

表4 追肥の目安

品種名	幼穂形成期（幼穂長:1～2mm） 出穂25～20日前		減数分裂期（幼穂長:30～120mm） 出穂15～10日前	
	施用量 (N成分/10a)	葉色（SPAD値）	施用量 (N成分/10a)	葉色（SPAD値）
ひとめぼれ	1.0kg	38～40	1.0kg	35～37
ササニシキ	—	—	1.0～1.5kg	32～34
つや姫	2.0kg	35～37	—	—
だて正夢	—	—	2.0kg	37～39
金のいぶき	1.0kg	33～35	1.0kg	30～32
まなむすめ	2.0kg	35～37	—	—

### 4 水管理 幼穂の発育には水の吸収が不可欠

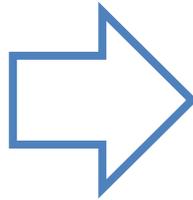
- ✓ 幼穂形成期に達したほ場は間断かん水を行いましょう

低温時（日平均気温 20℃以下が長期間続く、または最低気温 17℃以下）の際は障



## 乾田直播情報

乾田直播栽培の生育調査をしました。草丈は36 cm, 茎数は298本/m<sup>2</sup>, 葉数は6.5枚, 葉色は33.8でした。6月下旬の好天により, 順調に生育が進んでいます。雑草も目立たなくなりました。



6/20の生育状況

7/1の生育状況